

11月のびびり

来季への課題が明確に

10月12日から22日まで長崎県で開催された第69回国民体育大会カヌー競技に出場した大橋祐翔さん、大橋玲奈さん、茂地可南子さんが11月4日、瀧町長を表敬訪問。

大型台風の影響で競技日程は短縮、目標物も見えないほどの悪コースを経験した3人は、いかなる状況に置いても、平常心で競技に臨む精神力を鍛えたいと来季への目標を誓いました。



役場はどんなところ

11月12日、早来小学校2年生の校外学習が役場早来庁舎で行われました。

庁舎見学では、役場の書類を保管している書庫に入室。自動で動く本棚を目の当たりにし驚きの声を上げる一幕も。

見学後は、事前に用意してきた質問を持って各課へ移動し、「どういった仕事があるのか」、「選挙はどうやってするのか」などたくさん質問を職員に投げかけていました。



協力した3泊4日

11月4日から7日にかけて、通学合宿が早来地区の5、6年生を対象に行われました。

合宿は、集団生活を通して、望ましい生活習慣の定着や自立性の育成などを目的とした初の試みです。

参加した16人は寝食を共にし、星空観察やそば打ちなどを体験。「大変なこともあったけれど友達と協力した4日間は楽しかった」と充実した日々を過ごせたようでした。

将来について考える

11月16日、安平町の将来について考える「あびら夢・未来100人町民フォーラム」が追分公民館で開催され、住民協働のまちづくりに関する講演や道の駅を題材にグループ討議なども行われました。グループ討議では、道の駅に求める特徴について意見が交わされ「道の駅限定の特産品を販売」、「災害時の避難所としての機能」など多岐にわたる案が発表され、安平町の将来について考えた1日となりました。



美味しい話しがヒント

一日限定のカフェ・KOH MINKANが、11月24日追分公民館にオープン。美味しいもの好きの女性22名が集まり、「安平町の食」をテーマに会話を楽しみました。

参加することでネットワークを拡げ、テーマに沿って自由に意見を交わそうと企画された本事業は、リラックスした雰囲気の中、会話をヒントに安平町の農産物を活かした新メニューを考えるなど、女性のアイデアが溢れた時間となりました。

